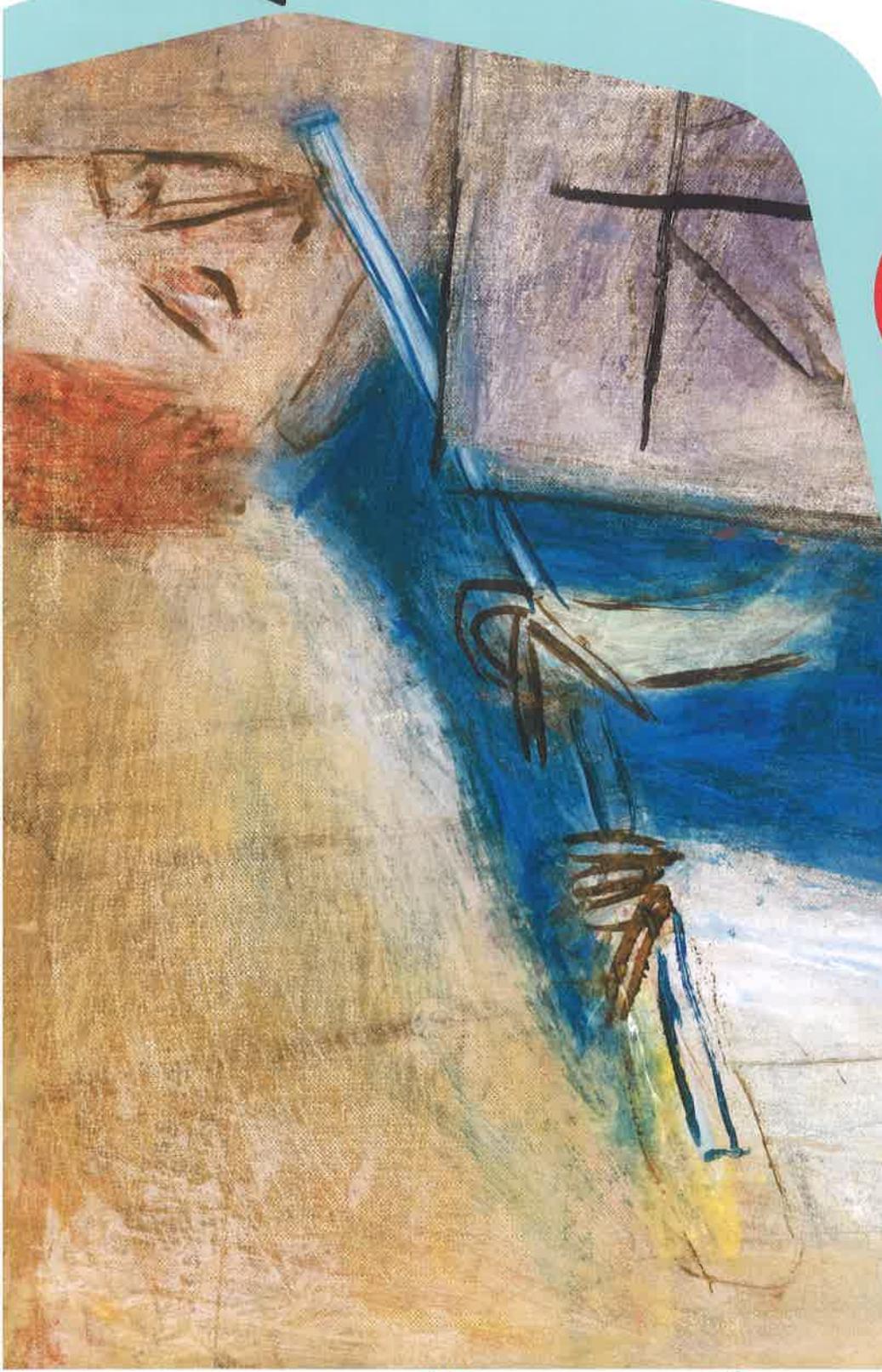


私田正年

誕生110年



2023.

10.13 Fri >>> 12.3 Sun

【開館時間】 9:00~17:00(入館は16:30まで) 【休館日】 月曜日 ※ただし11月6日[ファースト・マンデー]は開館
【観覧料】 一般 1,000(800)円 / シニア・学生 800(600)円 / 18歳以下無料 ※事前予約不要
◎当入場券で「生誕110年 松田正平展」、「毛利博物館所蔵『源氏物語絵巻』」をはじめ出会う「源氏物語」-「新指定・重要文化財紹介 雪舟と雪谷派」をご覧ください。
※シニアは70歳以上の方()内は20名以上の団体料金。 ※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。 ※障害者手帳等をご持参の方とその介助の方1名は無料。
【主催】 山口県立美術館、yab山口朝日放送 【共催】 公益財団法人毛利報公会 毛利博物館 【特別協力】 エフエム山口



山口県立美術館

<https://www.yma-web.jp>

《笛吹舎》(部分) 1989年 油彩 / カンヴァス 山口県立美術館蔵

源氏物語絵巻

—はじめて出会う『源氏物語』

毛利博物館所蔵



2023.

10.13 Fri >>> 12.3 Sun

【開館時間】9:00～17:00(入館は16:30まで) 【休館日】月曜日 ※ただし11月6日【ファースト・マンデー】は開館

【観覧料】一般 1,000(800)円/シニア・学生 800(600)円/18歳以下無料 ※事前予約不要

◎当入場券で「生涯110年 松田正平展」、「毛利博物館所蔵『源氏物語絵巻』—はじめて出会う『源氏物語』」、「新指定・重要文化財紹介『雪舟と雲谷派』」をご覧いただけます。
※シニアは70歳以上の方、()内は20名以上の団体料金。※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。

【主催】山口県立美術館・yab山口朝日放送 【共催】公益財団法人毛利報公会 毛利博物館 【特別協力】エフエム山口

同時開催

新指定・重要文化財紹介
雪舟と雲谷派

山口県立美術館 <https://www.yma-web.jp>

※毛利博物館では特別展「国宝」[10月28日(土)～12月4日(月)]を開催中です。当展とあわせてご覧ください。

《源氏物語絵巻》
若菜下(部分) 毛利博物館蔵
【展示期間】10月13日～11月12日
※会期中、展示替えを行います。

源氏物語 絵巻

—はじめて出会う
「源氏物語」

日本古典文学の白眉とされる『源氏物語』。平安時代、紫式部によって紡がれたこの王朝恋愛長編は、それぞれの時代に即して読み継がれ、さまざまな美術作品を生み出す源泉となりながら、日本文化に大きな影響をもたらしてきました。

本展覧会では、全五巻・五十四帖・六十五場面からなる毛利博物館所蔵「源氏物語絵巻」を入り口として、「源氏物語」にはじめて出会う方にも、あるいは久しぶりの方にも親しみやすい演出で、物語の世界へとご案内します。そのストーリーはもちろん、細やかで四季の情緒あふれる自然景の描写、秀てた色彩感覚、優美な詞書といった豪華絵巻ならではの『源氏物語』を堪能ください。また合わせて、真内に伝わる毛利家ゆかりの写本や注釈書の優品を展示し、この物語と人びとがどのように出会ってきたのか、その一端をご紹介します。本展を通じて、千年以上にわたって愛されてきた『源氏物語』の魅力にふれていただければ幸いです。

お嫁入りには『源氏物語』

吉川正正の嫁入りの際、毛利輝元の娘、竹姫が持参した華麗な写本セット。中近世の公家や大名家にとって、『源氏物語』は必携の教養書でした。



毛利家伝来
『源氏物語』
五十四帖
(うち展示は六帖)
および源氏軍荷
吉川史料館蔵

【交通案内】

- JR新山口駅から山口線に乗り換え
山口駅下車、徒歩約15分
- JR新山口駅から防長バス山口行きまで約30分
- JR防府駅からJRバス山口行きまで約35分
- 山陽自動車道 防府東ICから車で約25分
- 山陽自動車道 (広島方面から) 山口ICから車で約25分
- 中国自動車道 (九州方面から) 小郡ICから車で約25分
- ※駐車場は美術館周辺の各駐車場をご利用ください。
- ① 駐車場は無料。(200台)
- ② ③は無料、④は最初の1時間のみ無料となります。
- (1時間無料券を配布しますので駐車券をお持ちください。)
- 乗降駐車場は土・日曜、祝日のみ開放となります。

美術館

山町3-1 Tel.083-925-7788

yma-web.jp

ギャラリーートーク

松田正平展

0～、10月21日(土) 14:00～

「源氏物語絵巻」

よう「源氏物語」

0～、10月28日(土) 10:00～

事前申し込み不要

【第一帖 桐壺】
美しく光り輝く
源氏の愛を誕生。
12歳で華やかに元服



流麗な詞書にも注目!



【第十七帖 絵合】

31歳、後宮の権力争いを制して
一気に人生より坂

【第十二帖 須磨】

26歳、女性スキャンダルが
るみに、自ら都を離れ、
約二年半の謹慎生活



【第五帖 若紫】

光君18歳、
美少女と運命の出会い。
引きとり育て、
やがて生涯最愛の妻に



逃げた銅い壺を
追って現れた
美少女に
ひと目ぼれ

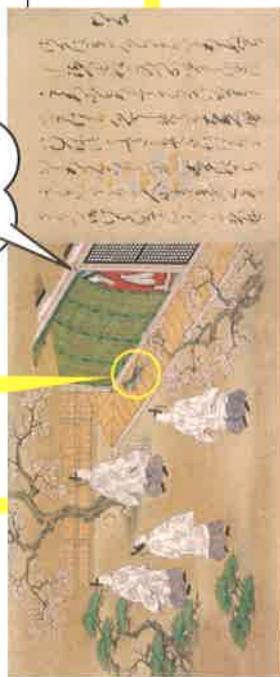
【第二十二帖 少女】
35歳、念願の大御所完成。
まご、ゆかりの女性たちを
住まわせる



【第三十三帖 藤裏葉】
39歳、子をもちたらの心配事も解決。
天皇に次ぐ位に昇進し、
人生最高潮

【第三十四帖 若菜上】

41歳、ある春の日の事件から
はじまる、若妻の憂切り……
極めた栄華に差す影



猫の首紐が
御簾(みす)にからまり、
光君の若妻の姿が
あらわに……

【第四十帖 幻】

52歳、光君の「終巻」

【第四十五帖 橋姫】

二代目主人公、義宇治の橋を守る
女神のような姉妹と出会う



【第五十一帖 浮舟】

私はいつも誰かの身代わり……
薄幸のラストヒロイン、
二人の男性の間で悩んだ末に……



「源氏物語絵巻」尊徳法親王調書 五巻
紙本着色 17世紀 江戸時代 毛利博物館蔵
※【第五、二十二、三十一、五十一帖】は部分。
※会期中、展示替えを行います。

毛利博物館蔵「源氏物語絵巻」は、前期に各巻の前半、後期に各巻の後半を展示します。
前期：10月18日(金)～11月12日(日)／後期：11月14日(火)～12月3日(日)
※【第一、五帖】は前期展示、【第二、三十一、三十四、四十五、五十一帖】は後期展示。

松田正平 展

生誕110年

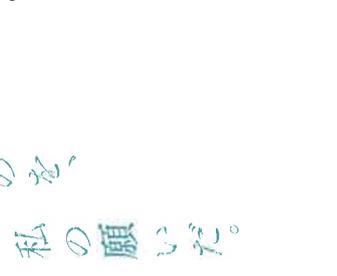
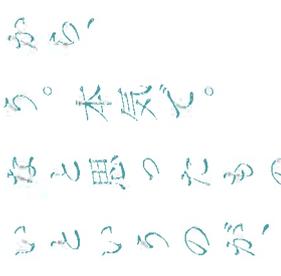
山口県宇部市で幼少期を過ごし、東京、そして第二次世界大戦前夜のパリで研鑽を積んだ松田正平(1913-2004年)。生涯をとおして身近なモチーフを描き続け、晩年には透明感のある独特の表現に到達しました。その繊細で温かみのある作品は、没後20年を迎えようとする今もおおくの人々を惹きつけています。

本展では、約70点の油彩画と素描を通じて、半世紀以上にわたる画家の創作活動をご紹介します。おおらかにのびのびとした、詩情豊かな松田正平の世界をご堪能ください。



松田正平 (1913-2004)
MATSUDA Shohei

島根県出身。
4歳の頃、宇部の松田家に養子として引き取られる。
旧制宇部中学校(現・山口県宇部高等学校)、
東京美術学校(現・東京藝術大学)を経て、パリに留学。
戦後は長く関東を拠点に活動した。
還暦を過ぎた頃から独特の油彩画が注目を集め始め、
1984年、第16回日本芸術大賞受賞。
最晩年は故郷の宇部で暮らした。享年91歳。



油絵がわからんから、
生涯描くでしょう。本気で。
自分がきれいだなと思ったものを、
率直に表現したいというのが、私の願いだ。

山口県
〒753-0089 山口県山口市
<https://www.museum-matsumoto.com/>

学芸員による

生誕110年

【日時】10月14日(土)10:00

毛利博物館所蔵
一はじめて出展

【日時】10月14日(土)14:00

※各回45分程度

- 1 《ロー「真珠の女」模写》1938年
油彩/カンヴァス 個人蔵
- 2 《綾取り》1958年 油彩/板 山口県立美術館蔵
- 3 《祝島風姿》1953年
油彩/カンヴァス 山口県立美術館蔵
- 4 《NC楼》1977年
油彩/カンヴァス 山口県立美術館蔵
- 5 《瀬戸内飾》1971年頃 油彩/カンヴァス 個人蔵
- 6 《バラ》1978年 油彩/カンヴァス 山口県立美術館蔵
- 7 《周防灘》1989年
油彩/カンヴァス 山口県立美術館蔵
- 8 《四国犬》1990年
油彩/カンヴァス 山口県立美術館蔵
- 9 《自画像(Mの肖像)》1986年
油彩/カンヴァス 個人蔵

